

# 令和4年度習志野市公営企業決算概要

～ガス・水道・下水道事業会計～



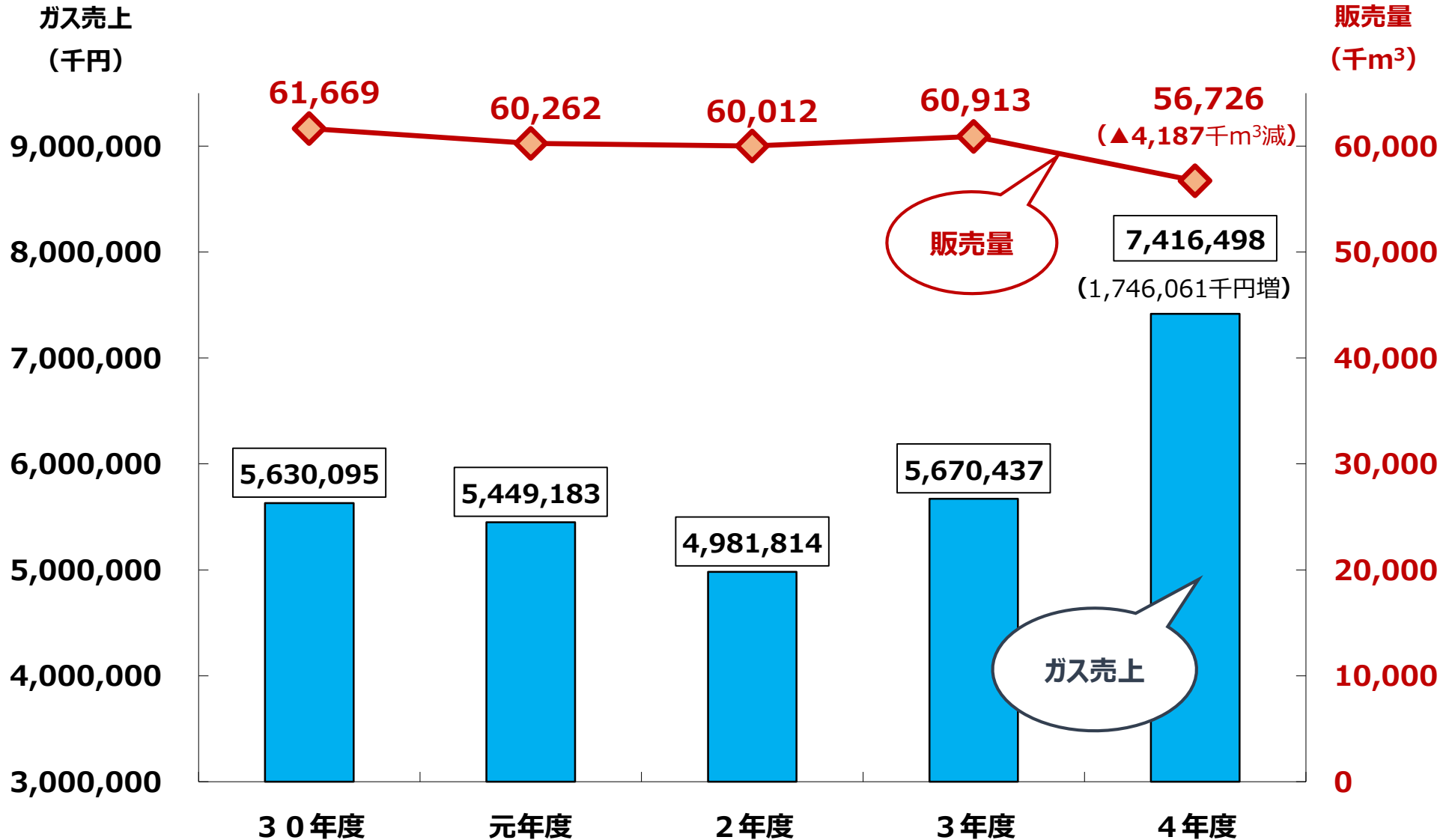
令和5年8月31日(木) 令和5年度習志野市公営企業運営協議会第2回会議

習志野市企業局 業務部 経理課

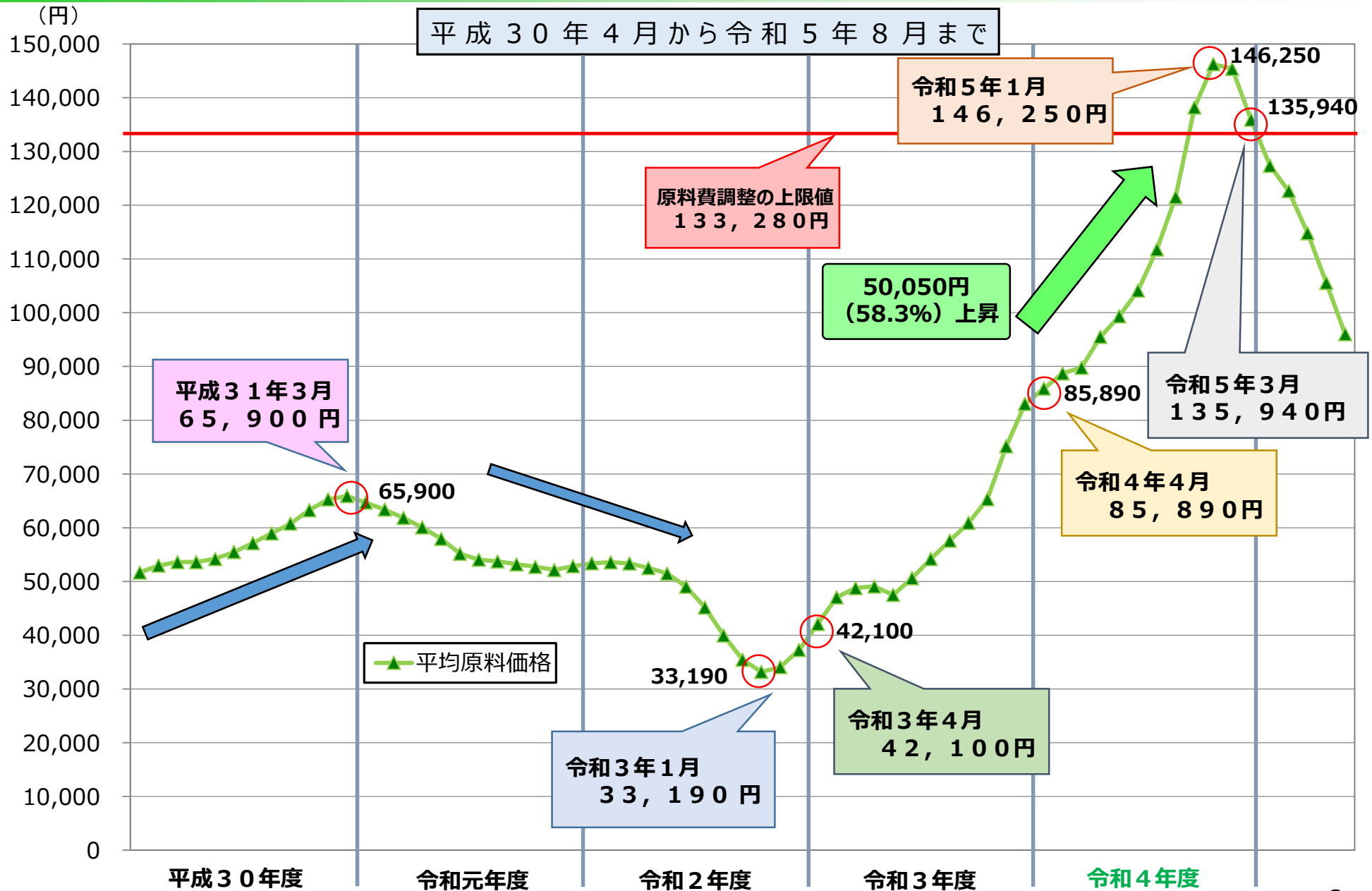
## 事業の概要

1. 令和4年度末メーター取付件数 81,816件  
4年度増加件数 178件  
(対前年度比 0.2%増)
2. ガス販売量(45MJ) 56,726千m<sup>3</sup>  
(対前年度比 ▲6.9%減)
3. 令和4年度末ガス本支管総延長数 449,523m  
4年度布設延長数 2,656m

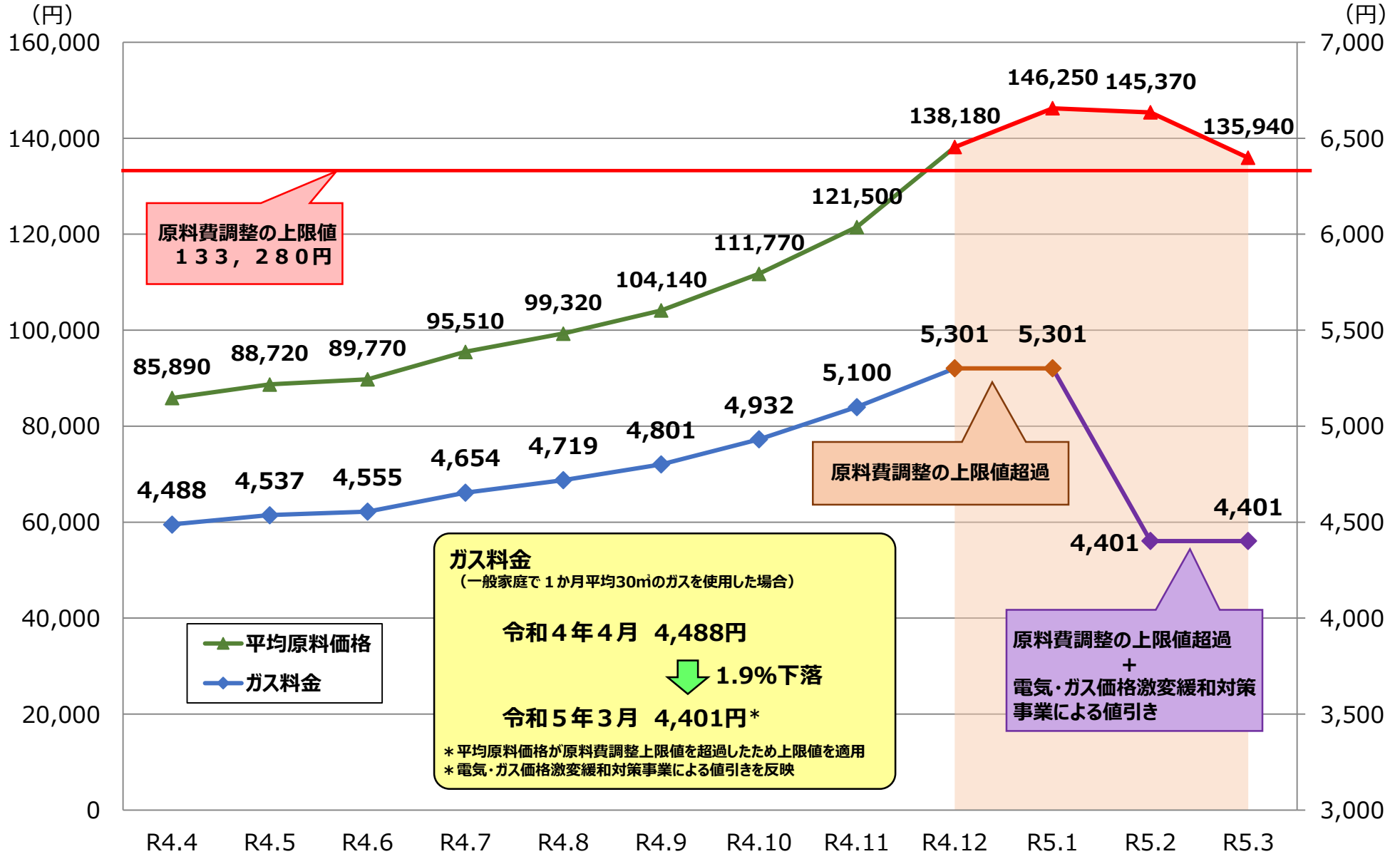
# 販売量及びガス売上の推移



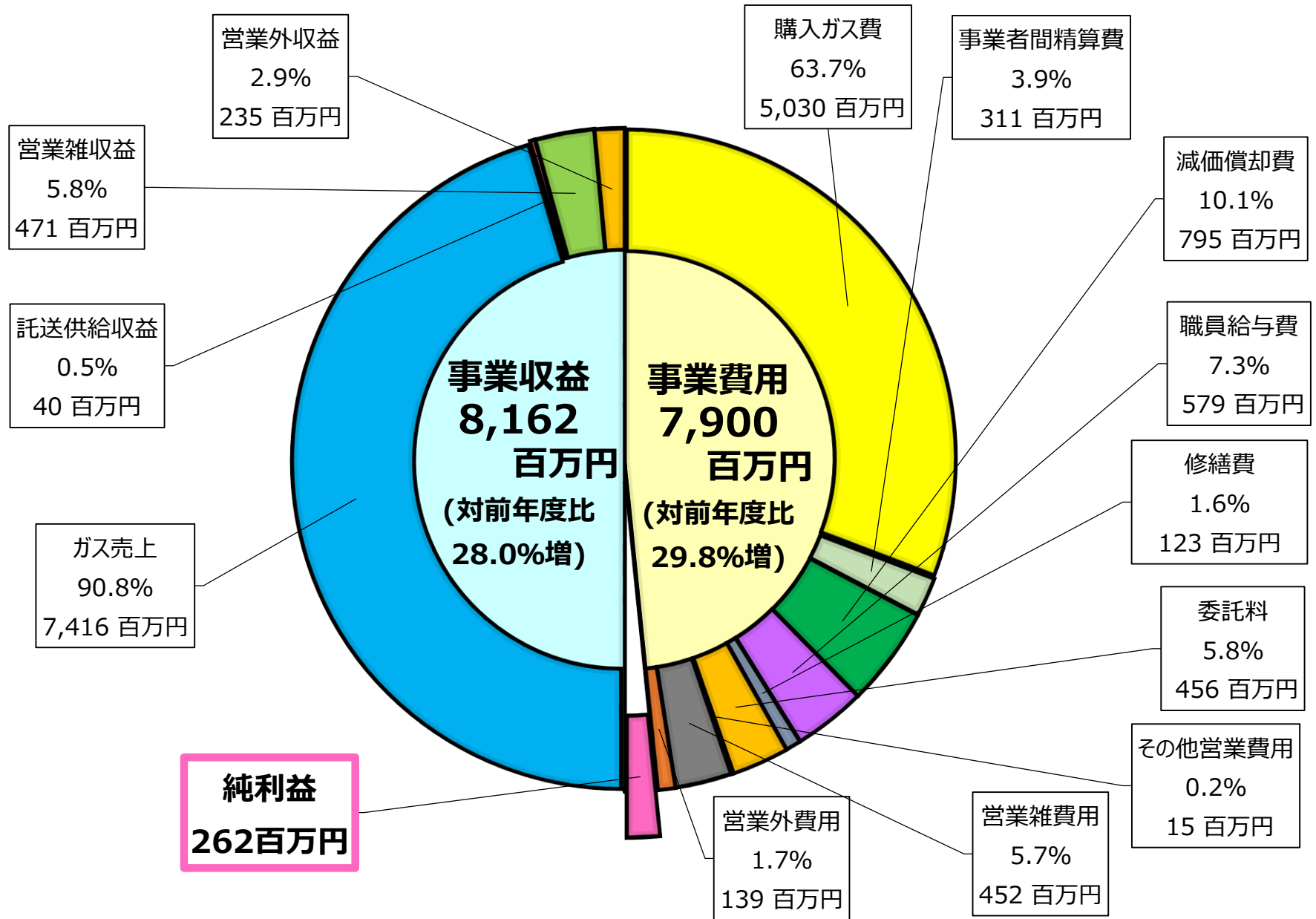
# 平均原料価格の推移(円/トン)



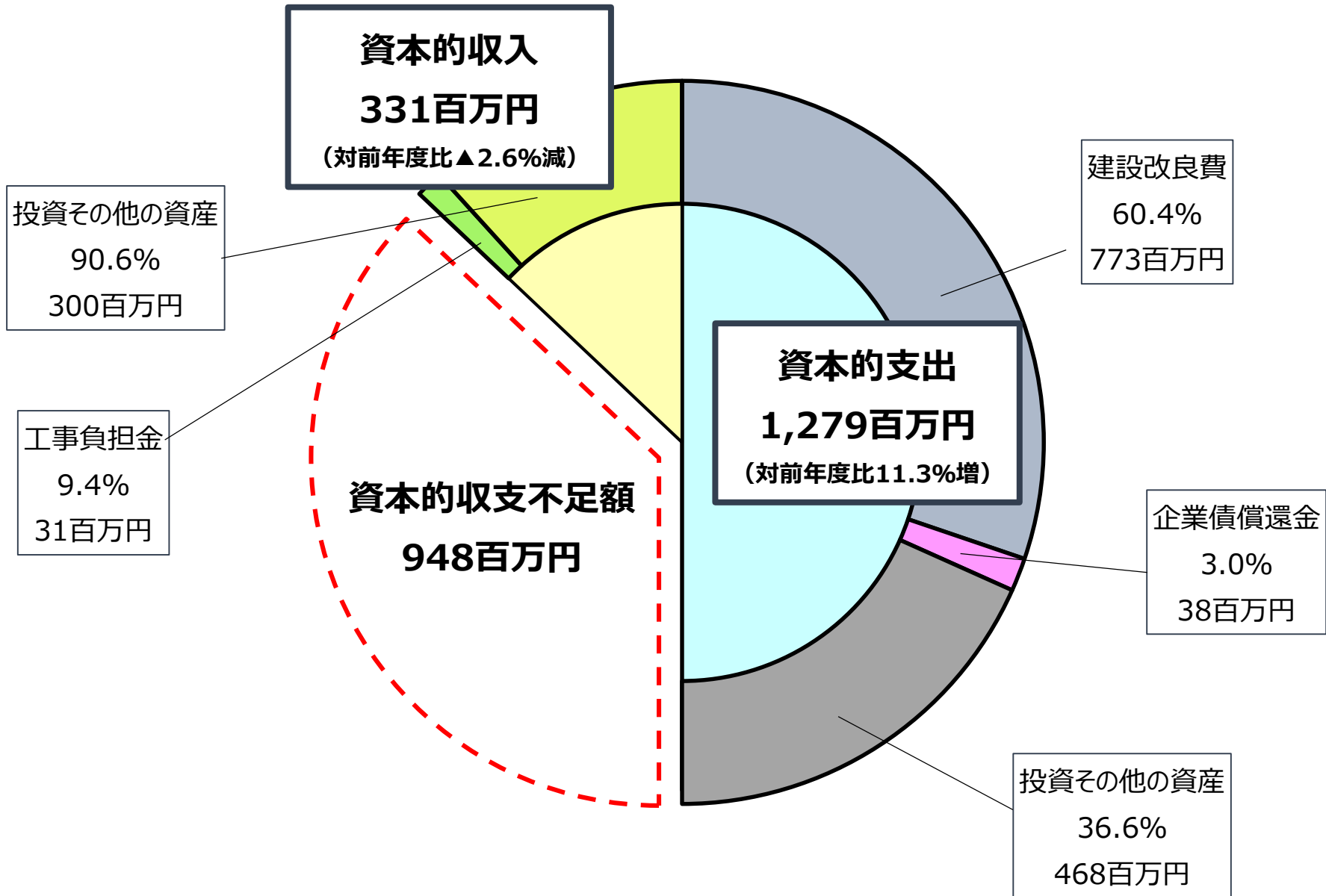
# ガス料金の推移(円/月)



# 令和4年度ガス事業収益的収支(消費税等含まず)



# 令和4年度ガス事業資本的収支(消費税等含む)

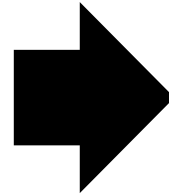


# 資本的収支不足額(ガス事業)

## ・資本的収支不足額

$$\begin{array}{rcl} \text{資本的収入} & - & \text{資本的支出} \\ 331\text{百万円} & - & 1,279\text{百万円} = \blacktriangle 948\text{百万円} \end{array}$$

資本的収支不足額  
948百万円



不足額は、

- ・過年度分  
損益勘定留保資金 468百万円
- ・減債積立金 37百万円
- ・建設改良積立金 376百万円
- ・消費税及び地方消費税  
資本的収支調整額 67百万円

で補填 (計948百万円)



・当年度純利益	2 6 1, 5 2 3 千円	}
・利益剰余金変動額	4 1 3, 3 1 1 千円	

当年度末処分利益剰余金

6 7 4, 8 3 4 千円

● 利益剰余金処分額

① 建設改良積立金

2 6 1, 5 2 3 千円

② 資本金への組入

4 1 3, 3 1 1 千円

議決後積立額

5 4 8, 4 3 9 千円

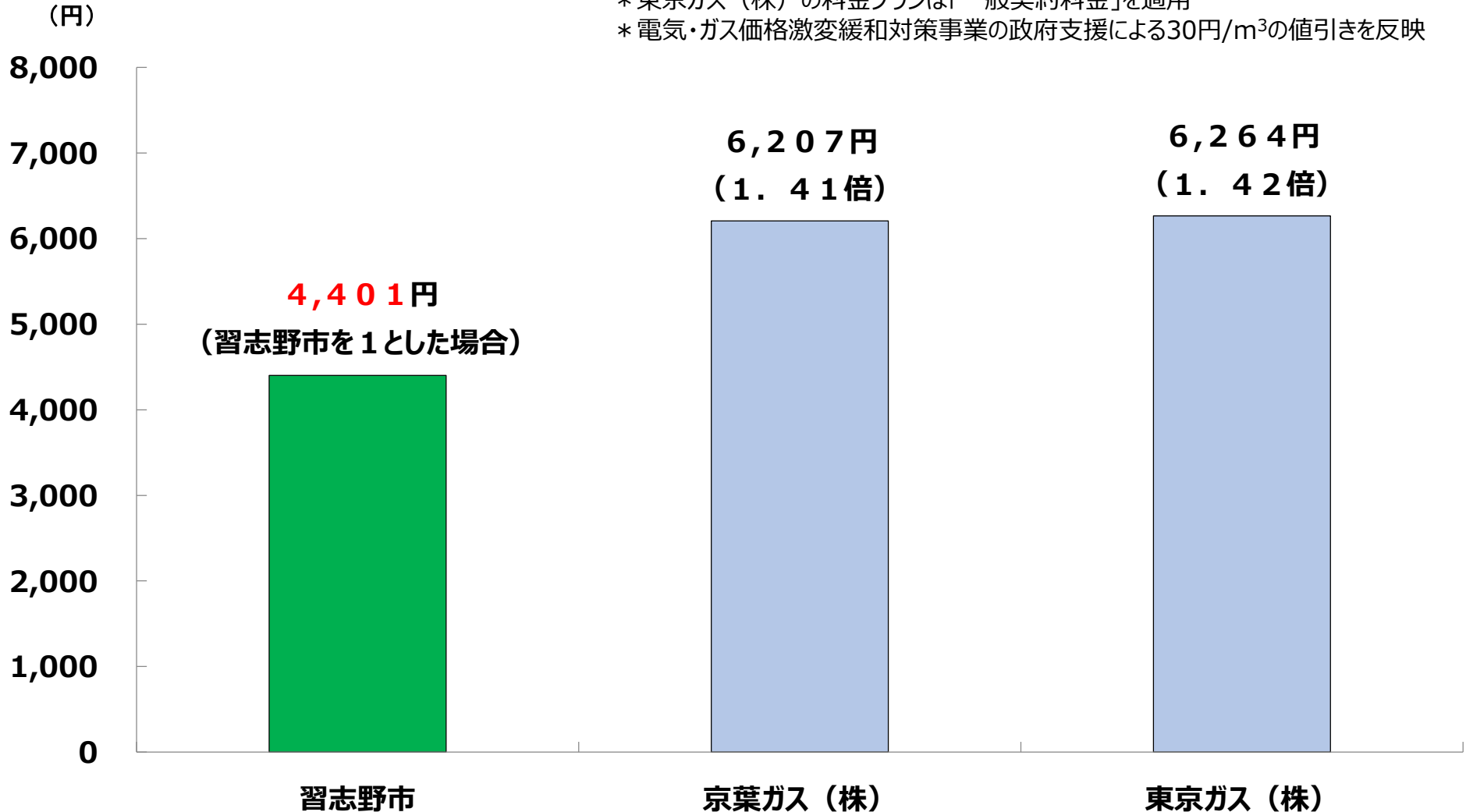
1 4, 0 0 5, 6 8 4 千円

一般家庭で1か月平均 **30m<sup>3</sup>**のガスを使用した場合 (45 MJ/m<sup>3</sup>)  
令和5年3月分料金での習志野市算出 (消費税等含む)

\*京葉ガス(株)の料金プランは「一般料金プラン」を適用

\*東京ガス(株)の料金プランは「一般契約料金」を適用

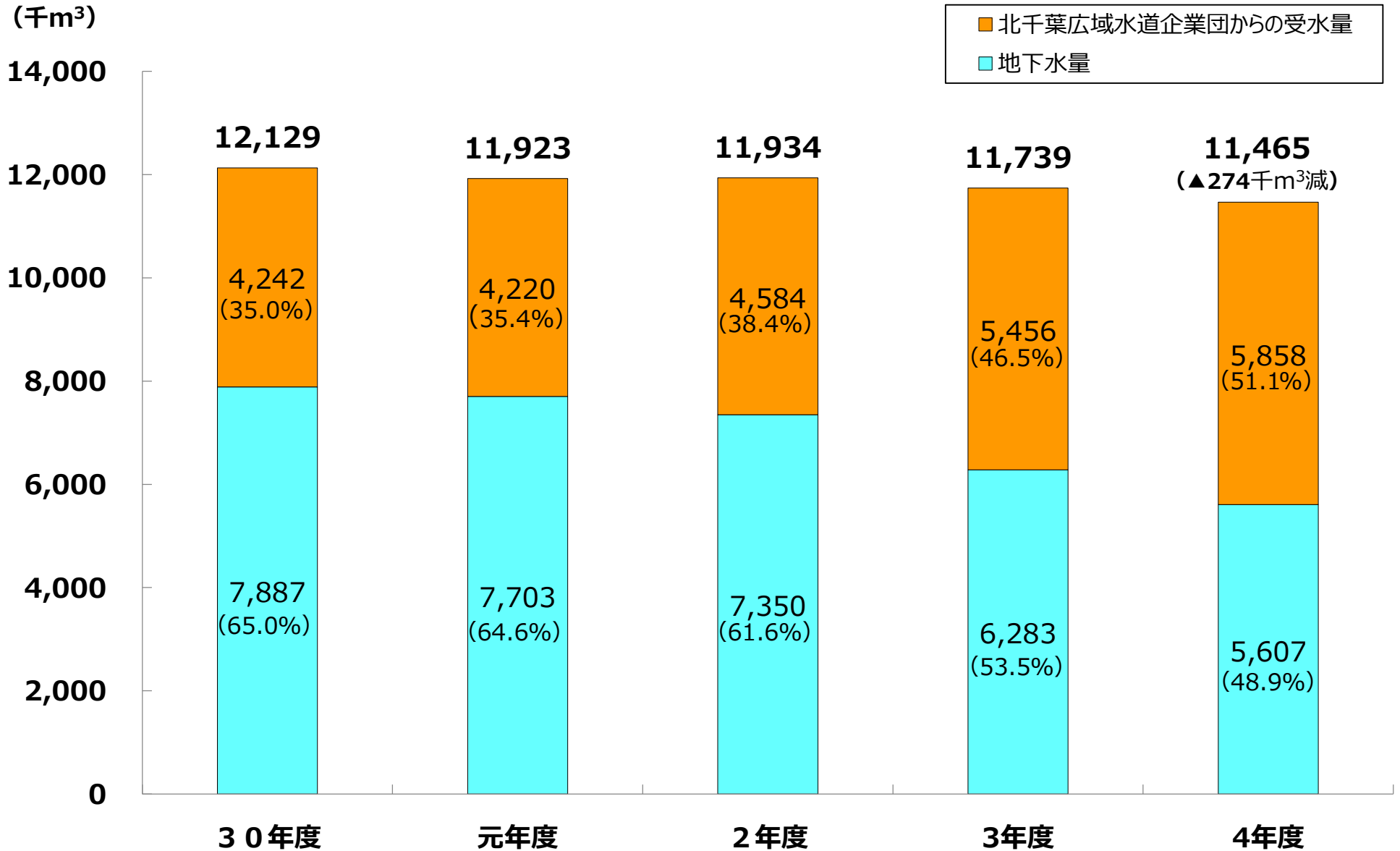
\*電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援による30円/m<sup>3</sup>の値引きを反映



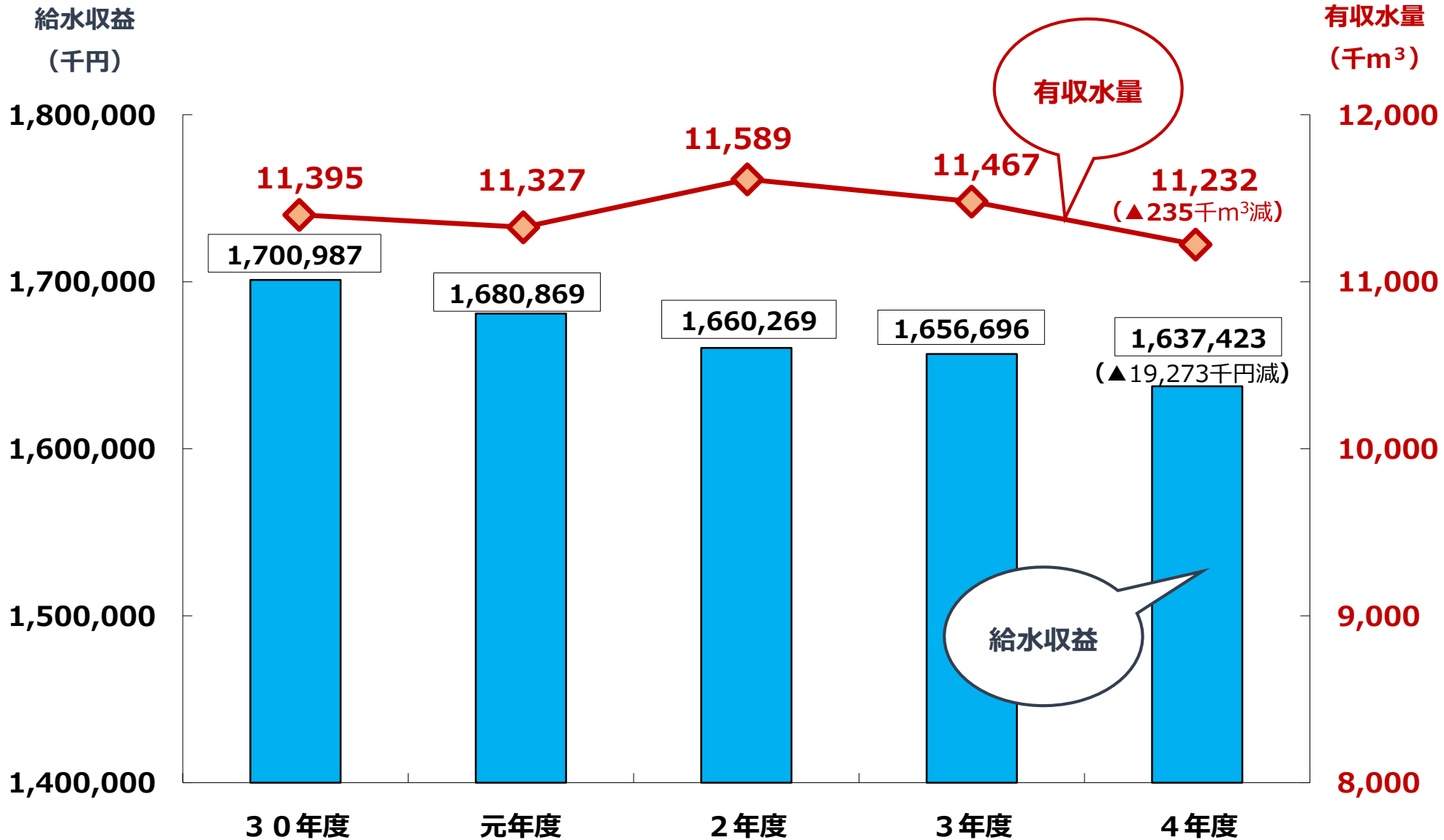
## 事業の概要

1. 令和4年度末メーター取付件数 59,457件  
4年度増加件数 267件  
(対前年度比 0.5%増)
2. 年間有収水量 11,232千m<sup>3</sup>  
(対前年度比 ▲2.1%減)
3. 令和4年度末水道本支管総延長数 319,180m  
4年度布設延長数 3,541m

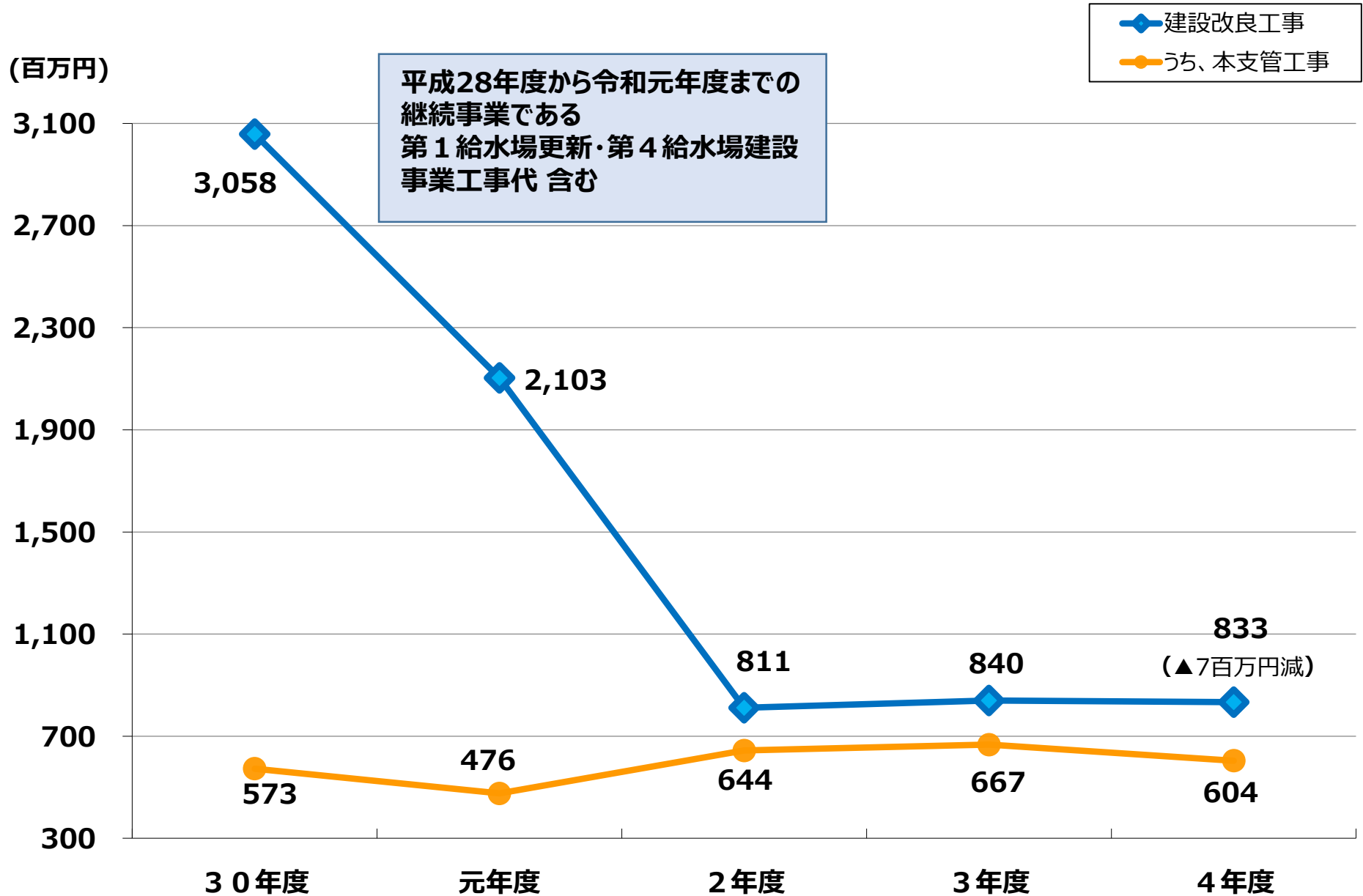
# 地下水量と受水量の推移

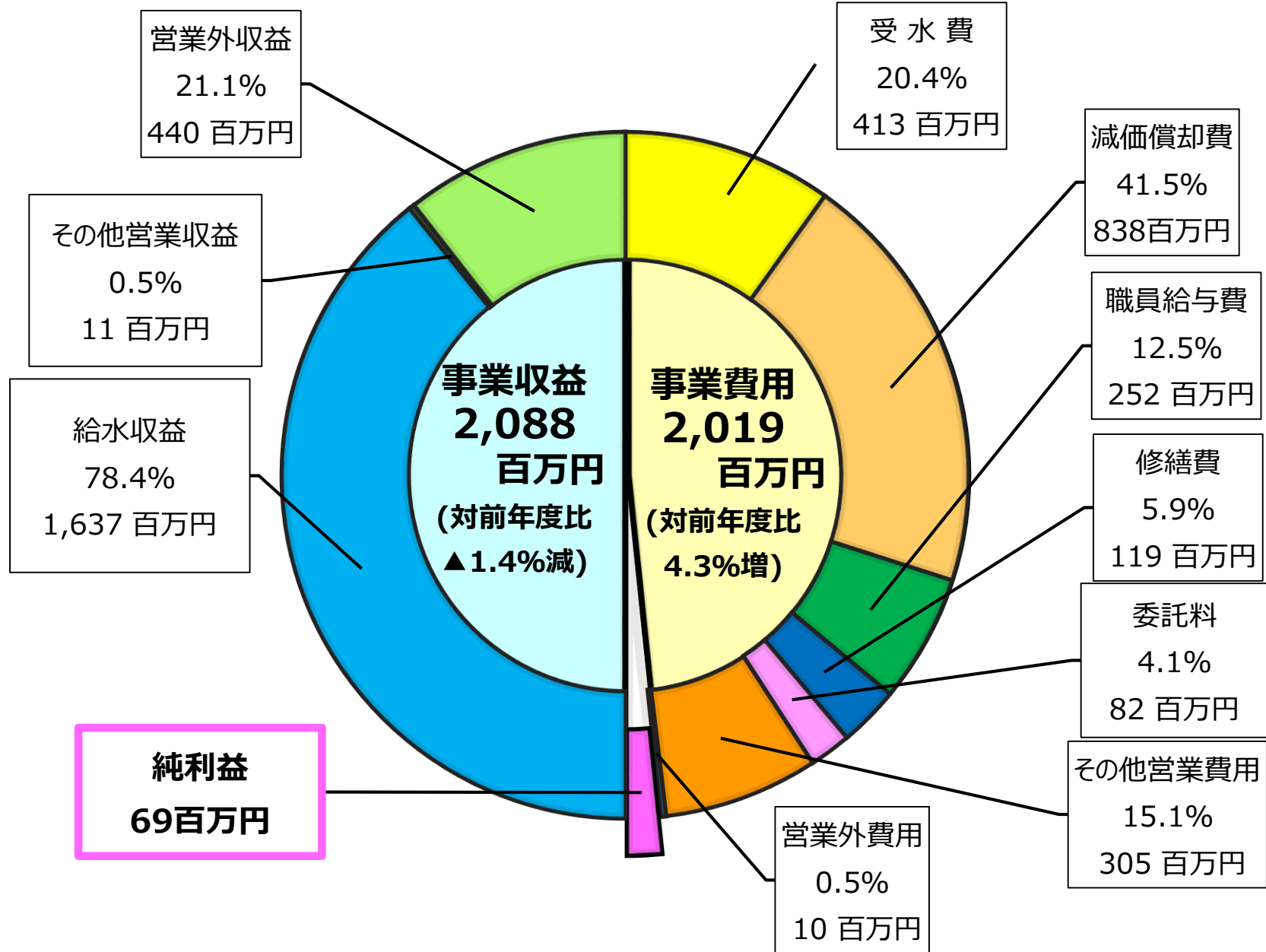


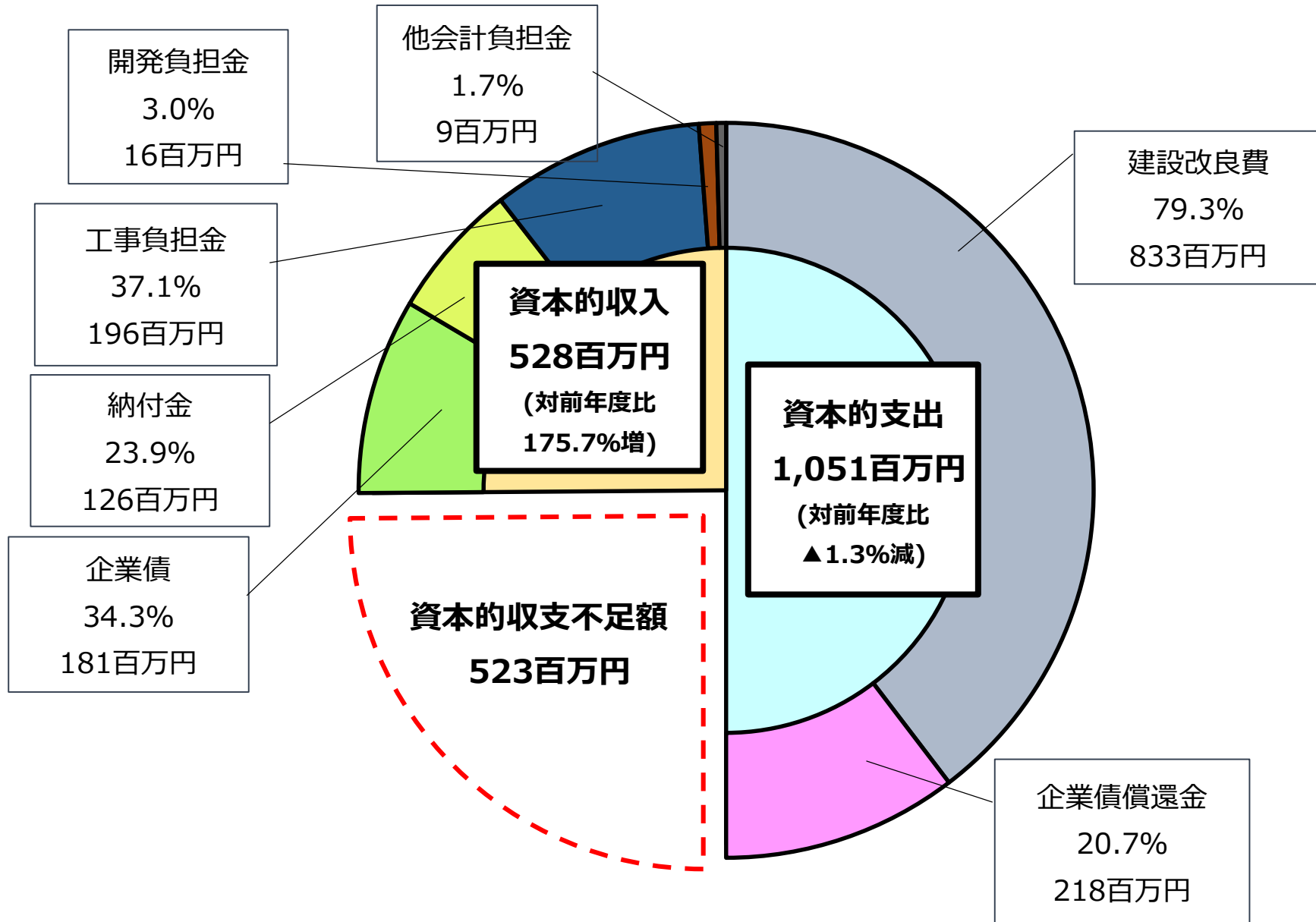
# 有収水量及び給水収益(料金収入)の推移



# 設備投資の推移(消費税等含む)







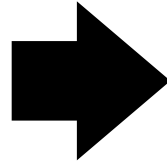


## ・資本的収支不足額

資本的収入 - 資本的支出  
528百万円 - 1,051百万円 = ▲523百万円

不足額は、

資本的収支不足額  
523百万円



- ・過年度分  
損益勘定留保資金 49百万円
  - ・減債積立金 218百万円
  - ・建設改良積立金 178百万円
  - ・消費税及び地方消費税  
資本的収支調整額 42百万円
- で補填 (計487百万円)  
残額36百万円は翌年度に措置

・当年度純利益	69,457千円	}
・利益剰余金変動額	395,952千円	

当年度末処分利益剰余金 465,409千円

●利益剰余金処分額

①減債積立金

69,457千円

②資本金への組入

395,952千円

議決後積立額

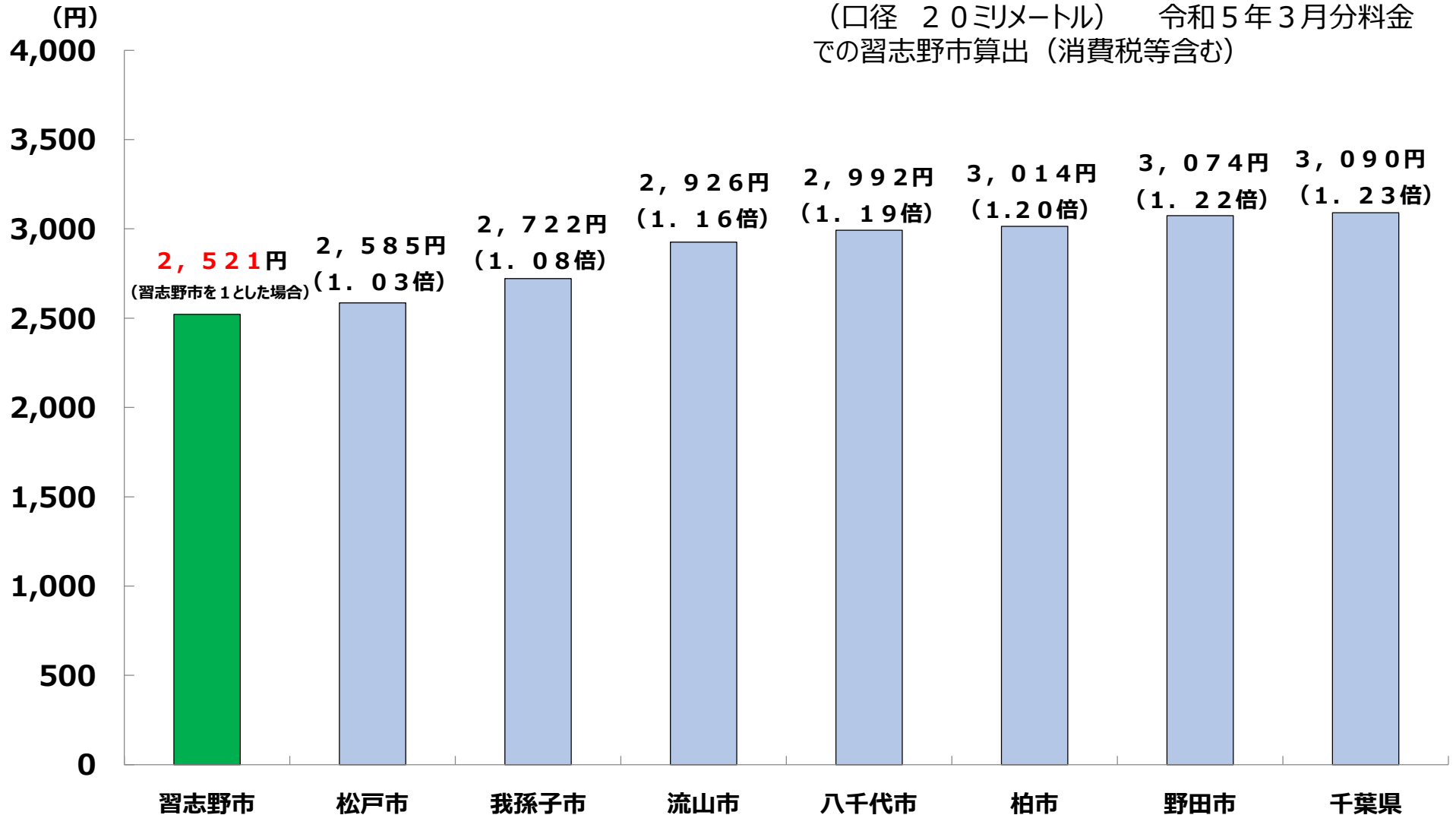
621,617千円

7,742,094千円

# 北千葉広域水道企業団構成団体 料金比較表

(消費税等含む)

一般家庭で1か月平均 **19m<sup>3</sup>**の水を使用した場合  
(口径 20ミリメートル) 令和5年3月分料金  
での習志野市算出 (消費税等含む)



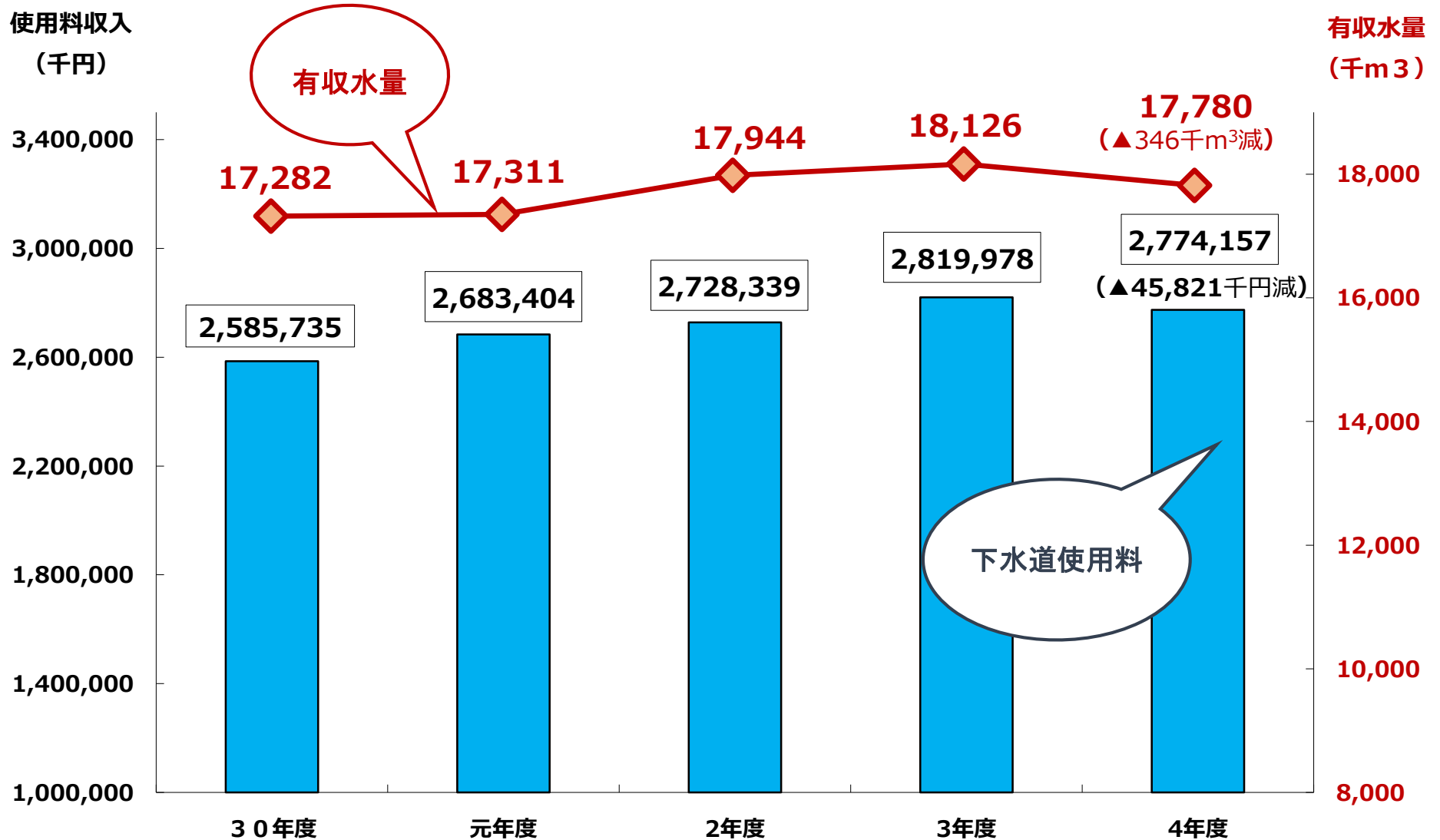
(JR総武線より北側の地域は「習志野市」、南側の地域は「県営水道」の料金となります。)

## 事業の概要

1. 年間総処理水量	26,142千m <sup>3</sup>
	(対前年度比 ▲5.9%減)
2. 年間有収水量	17,780千m <sup>3</sup>
	(対前年度比 ▲1.9%減)
3. 令和4年度末下水道管総延長数	523,969m
4年度整備延長数	750m
下水道普及率	95.6%

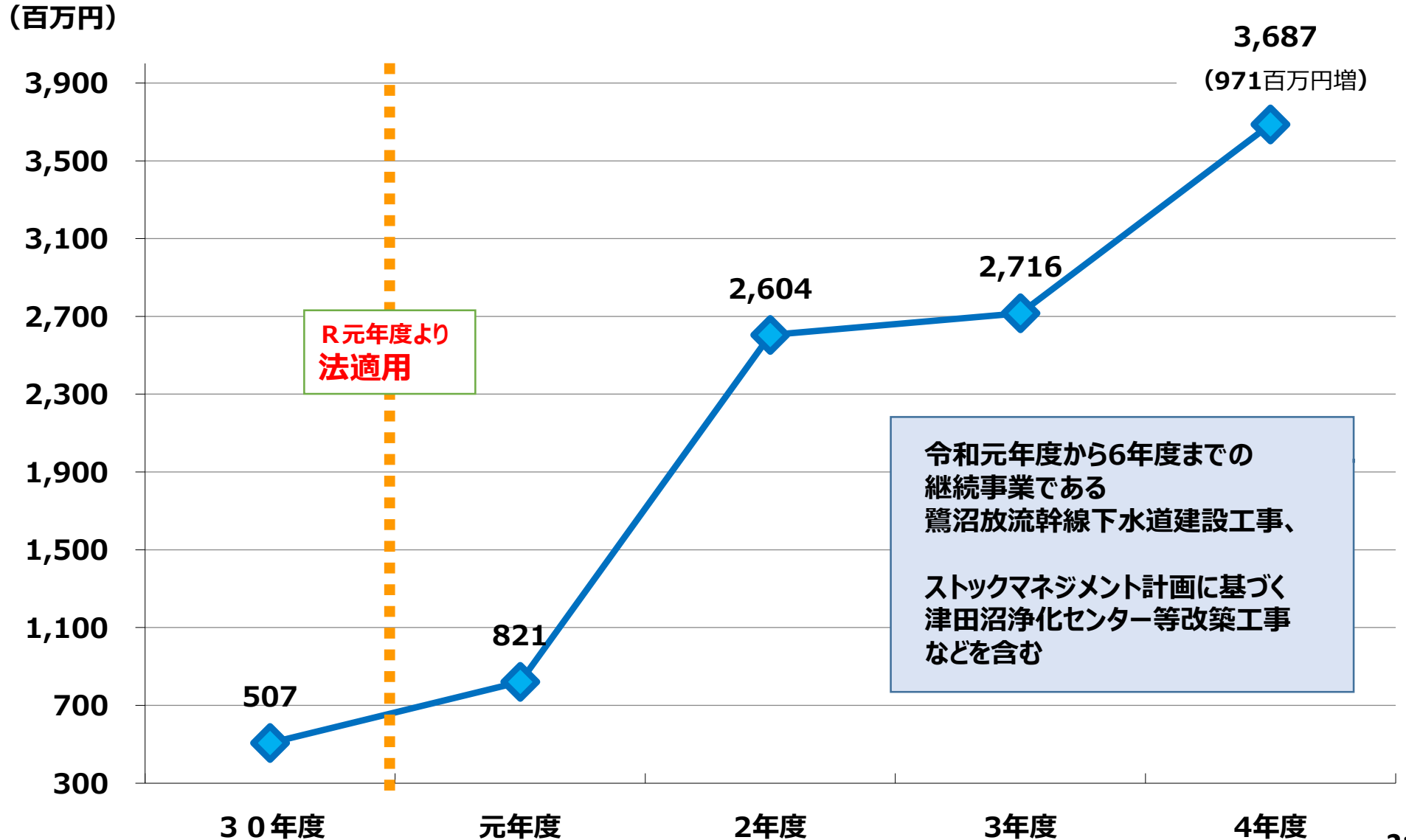
# 有収水量及び下水道使用料(収益)の推移

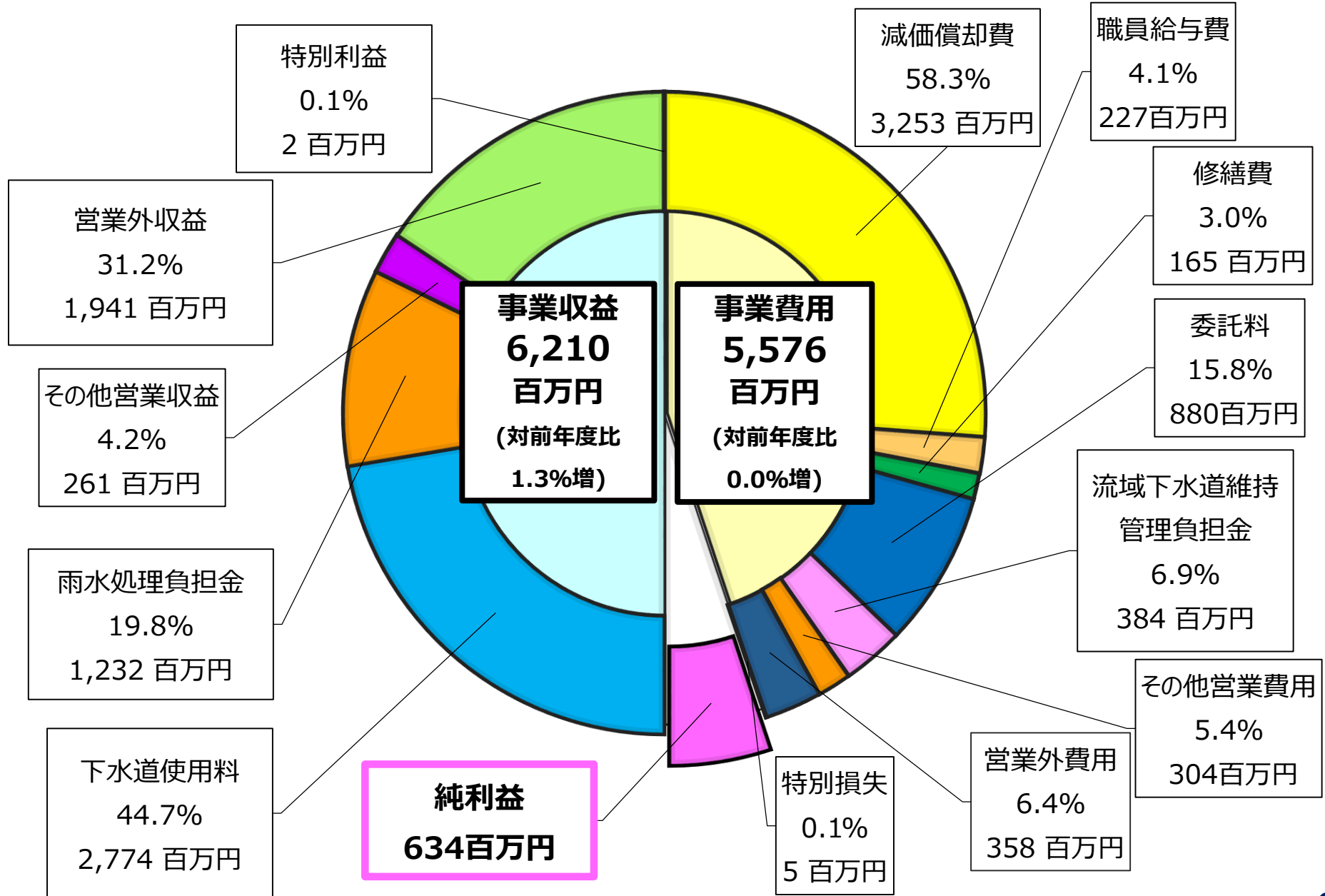
※平成30年度は税抜調定金額で算出

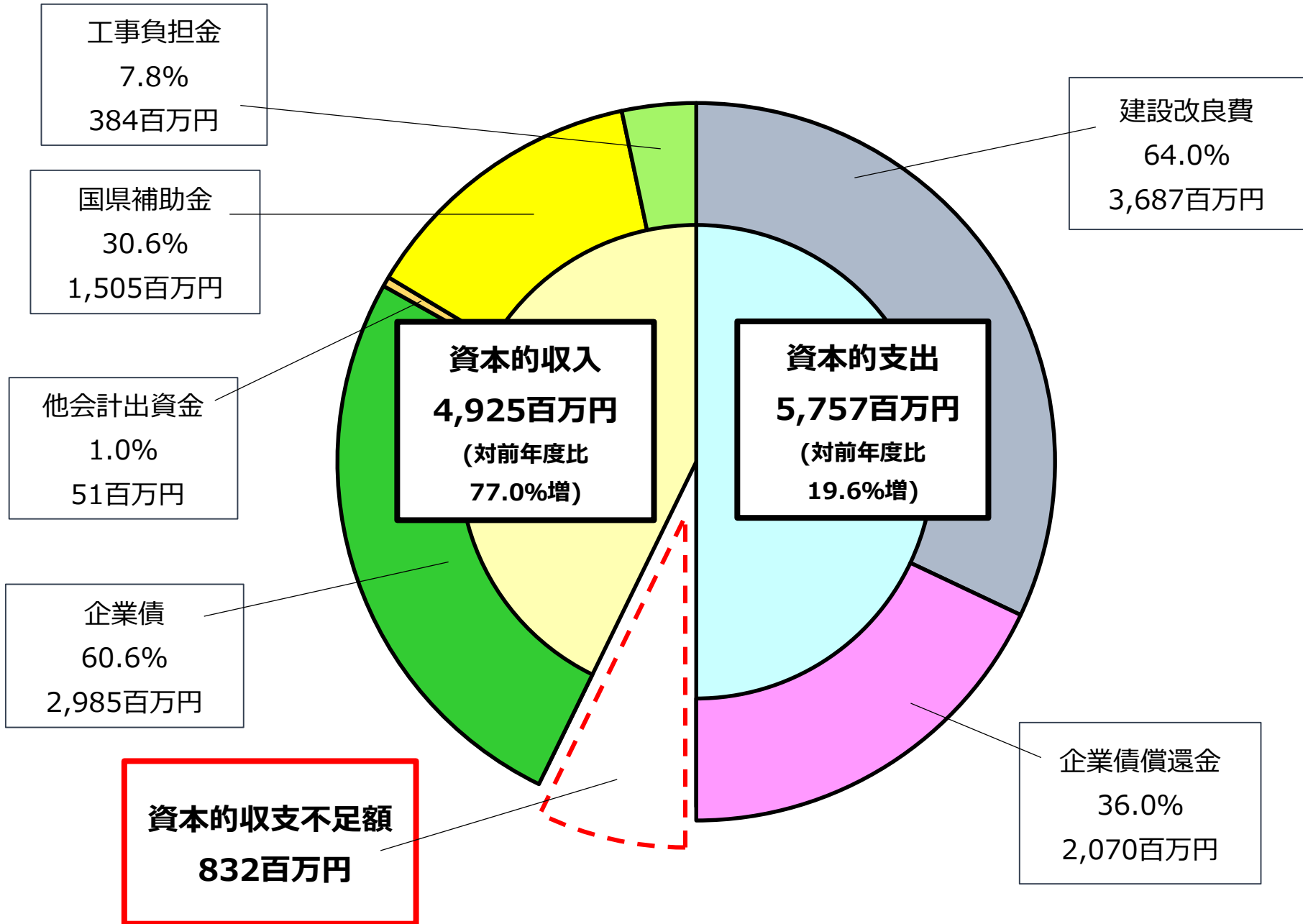


# 設備投資の推移(消費税等含む)

※平成30年度は公営企業決算状況調査値にて算出









# 資本的収支不足額(下水道事業)

## ・資本的収支不足額

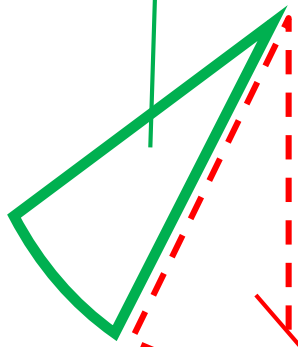
$$\begin{array}{rcl} \text{資本的収入} & - & \text{資本的支出} \\ 4,925\text{百万円} & - & 5,757\text{百万円} & = & \underline{\underline{\text{▲832百万円}}} \end{array}$$

▲761百万円 (前年度帰属分企業債)



$$\begin{array}{rcl} \text{実質的資本的収入} & - & \text{資本的支出} \\ 4,164\text{百万円} & - & 5,757\text{百万円} & = & \text{▲1,593百万円} \end{array}$$

前年度帰属分企業債  
761百万円

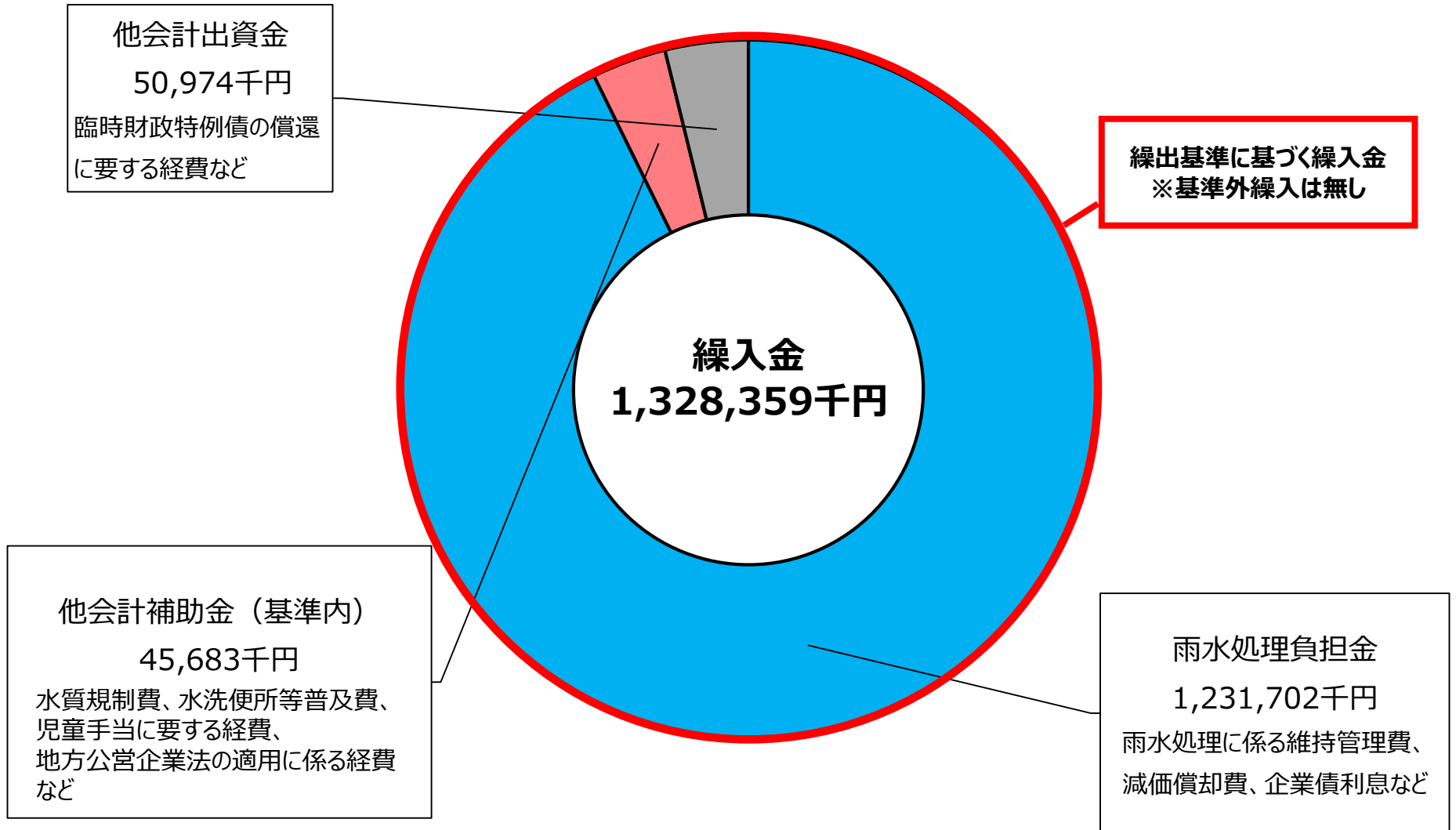


資本的収支不足額  
832百万円

不足額1,593百万円は

- ・当年度分及び過年度分  
損益勘定留保資金 973百万円
  - ・減債積立金 476百万円
  - ・消費税及び地方消費税  
資本的収支調整額 144百万円
- で補填 (計1,593百万円)

# 一般会計繰入金の内訳



・当年度純利益 634,090千円  
 ・利益剰余金変動額 475,871千円

当年度末処分利益剰余金 1,109,961千円

●利益剰余金処分量

①減債積立金

634,090千円

②資本金への組入

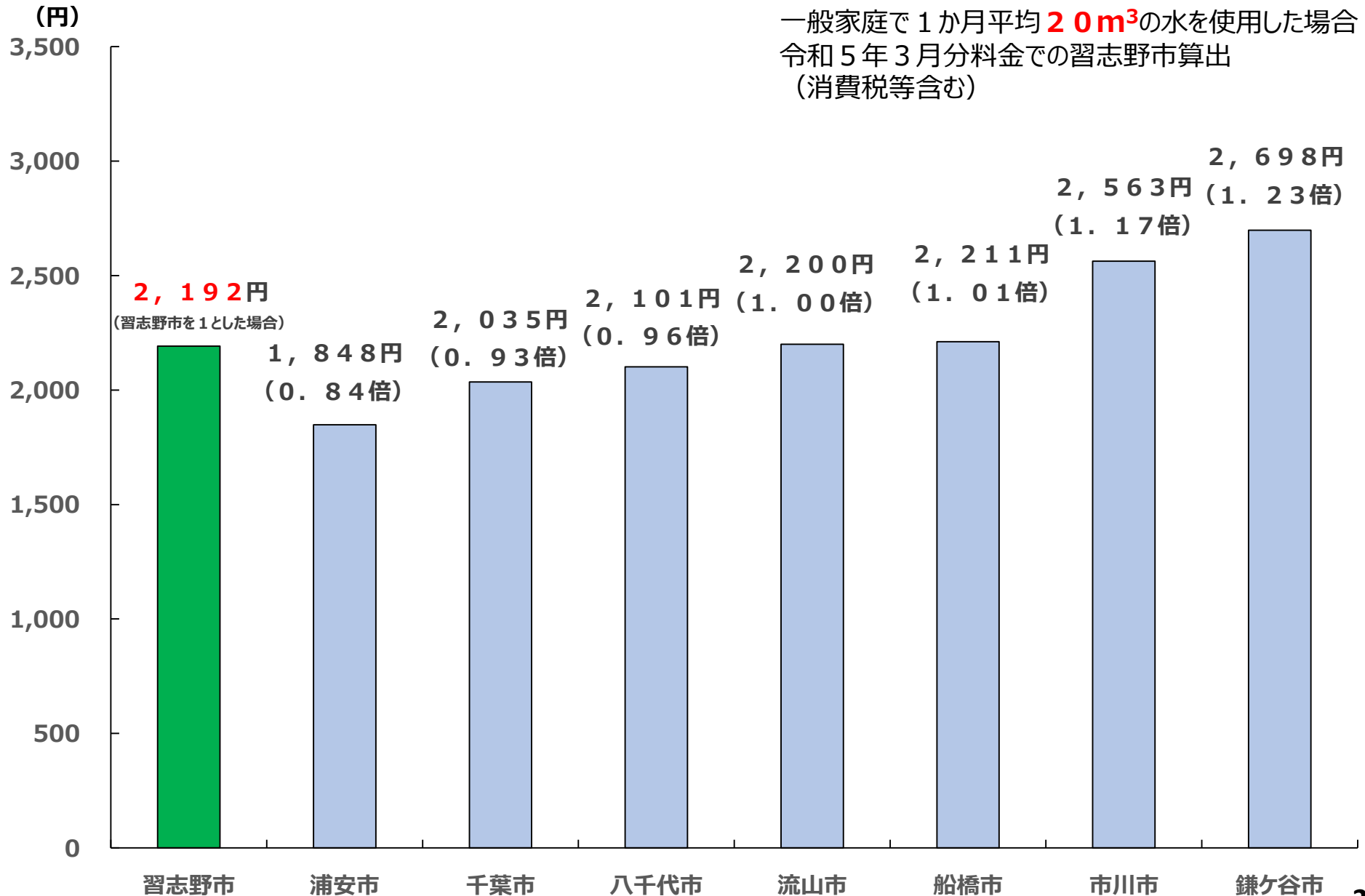
475,871千円

議決後積立額

1,192,651千円

15,828,011千円

# 近隣市下水道使用料 比較表(消費税等含む)



# 習志野市企業局 ブランドメッセージロゴ



習志野市企業局

## ▽ブランドメッセージに込めた思い

「昔も、今も、これからも、このまちの暮らし・未来を支え続ける存在であり続ける」という、習志野市企業局職員の使命感や思い

## ▽ブランドメッセージロゴマークに込めた意味

**赤** ガスの“エネルギー”。市民のあたたかい暮らし。

**青** 水道と下水道の“水”。市民の潤いある暮らし。

**緑** エネルギーと水を通じて、市民の暮らしを支え続けるという“意志”。

カーボンニュートラルを推進し、サステナブルな社会の実現に向けて取り組む“決意”。